

報道関係各位

2017年8月3日
株式会社クロス・マーケティング

習慣的に飲むアルコールはビールが4割を超えてトップ！ ほぼ毎日ビールを飲む【デイリードリンカー】は40～50代男性が約半数

－アルコールに関する調査－

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:五十嵐 幹)は、全国47都道府県に在住する20～59歳の男女を対象に「アルコールに関する調査」を実施しました。

■調査背景・目的

梅雨も明け夏本番を迎えました。イベントやアウトドアなど野外での活動が活発になる夏は、お酒を飲む機会が増えるという方も多いのではないのでしょうか。

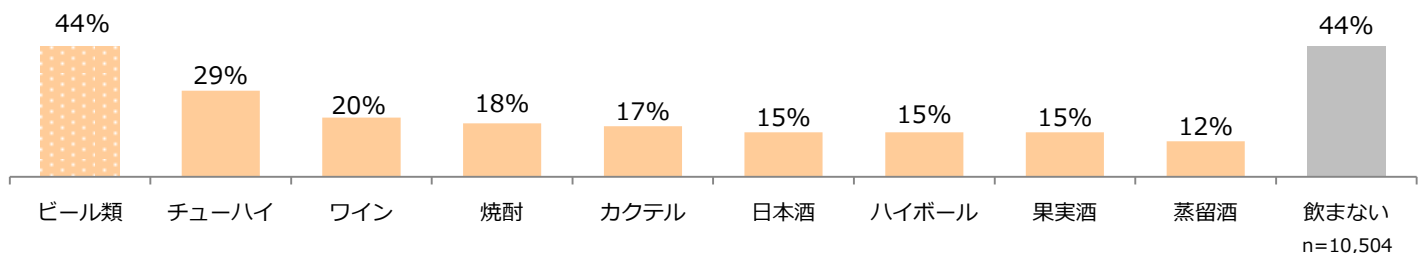
そこで今回は、普段どの種類のアルコールを好むのかなどといったアルコール飲用に対する実態を調べるとともに、アルコールを習慣的に飲用する人の特徴を把握するため、ビールの飲用頻度をもとに4つのタイプに分類。各タイプの家や外食でのアルコール飲用率などを聴取し、その実態を明らかにしました。

◆自主調査レポートの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/gourmet/al20170803/>

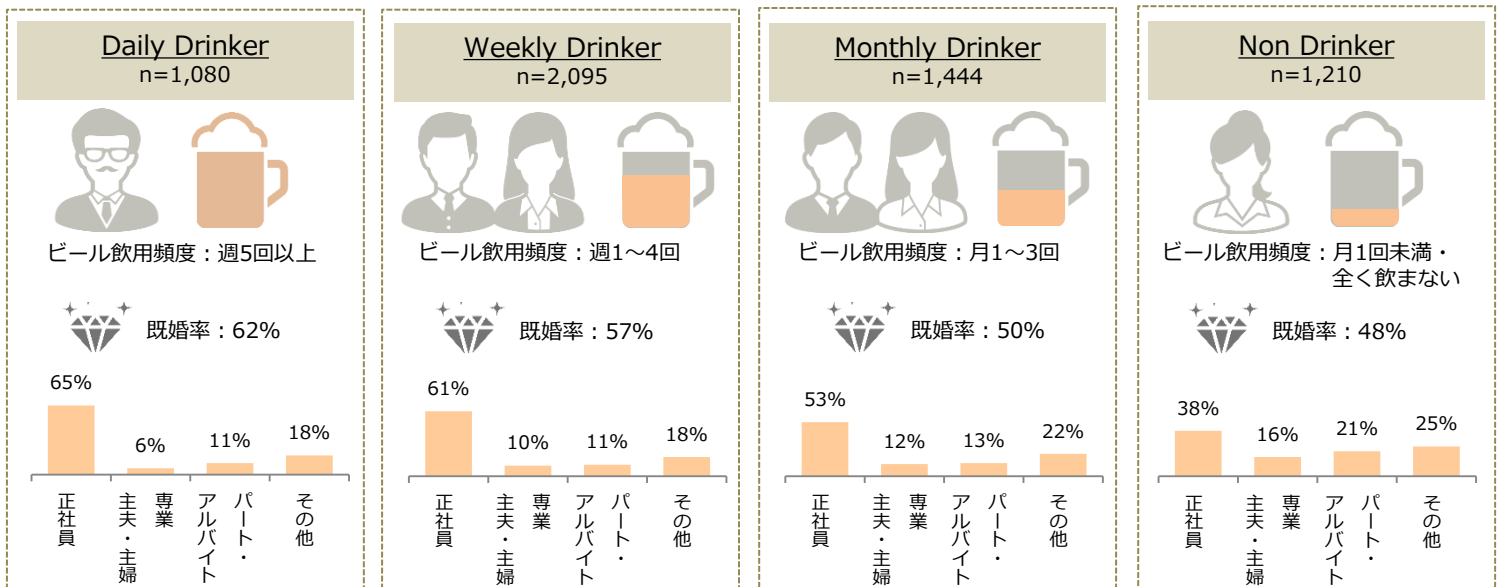
■調査結果 (一部抜粋)

- ✓ アルコール種類別の飲用率(月1回以上飲む割合)は、ビールが44%でトップ。次いで、チューハイが29%、ワインが20%と続く。また、いずれのお酒も飲用は月に1回未満、もしくはまったく飲まない人も44%となった。 <図1>
- ✓ いずれかのお酒を月に1回以上飲む人のうち、もっとも飲用率が高いビール類の飲用頻度をもとに4タイプを定義した。各タイプを比較してみると、ビールの飲用頻度が高いほど既婚率・正社員率が高いことがわかった。 <図2>
- ✓ 各タイプで比較をすると、週5回以上ビールを飲む【Daily Drinker】は男性40代～50代でほぼ半数を占める。対して、ビール飲用頻度が月1回未満の【Non Drinker】は女性の割合が高く、60%以上となった。週に1～4回ビールを飲む【Weekly Drinker】は他のタイプと比べて最も数が多く、【Daily Drinker】よりも外食での飲用率が高いことがわかった。 <図3>

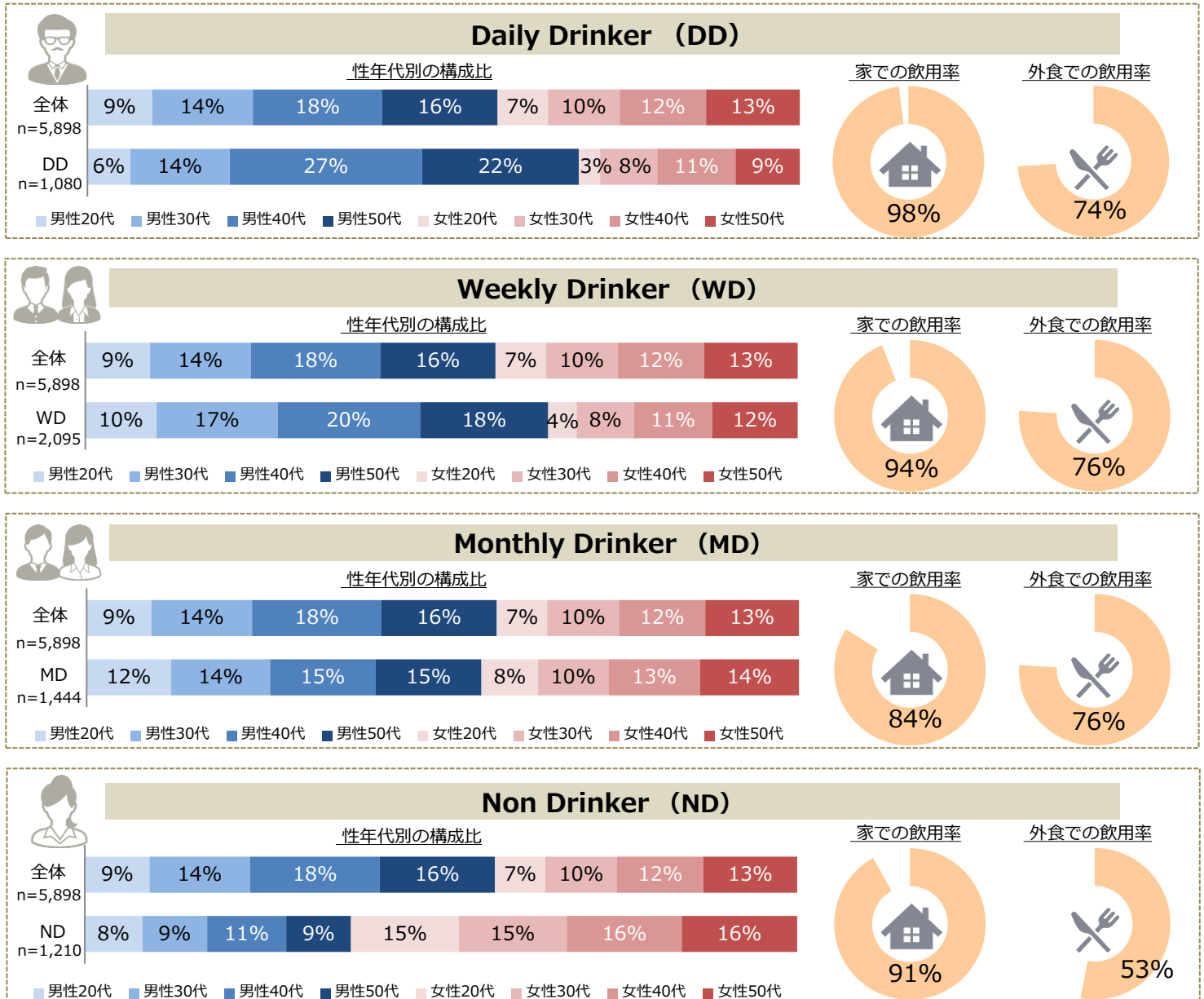
<図1> アルコール種類別の飲用率(月に1回以上飲む割合)



<図2> ビール飲用頻度別4タイプの各プロフィール



<図3> ビール飲用頻度別4タイプのアルコール飲用実態



■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～59歳の女性
 調査期間 : 2017年6月14日(水)～2017年6月16日(金)
 有効回答数 : 10,504サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : 東海林(しょうじ) TEL : 03-6859-2252 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp お問い合わせ : https://www.cross-m.co.jp/cromegane/cromegane_media/

〈引用・転載時のクレジット表記のお願い〉

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」